

アンケートのお願い

或 27年 3月 7日(土)

『保育の質と子どもの発達』

東京大学大学院教育学部教授

秋田 喜代美 先生

いかがでしたか？感想をお聞かせください。

先生のお話しを聞いて、子どもの成長にとって、保育の質が
大きく影響している事をあらためて認識しました。関わり方や
環境の仕方によって、子どもの感受性も大きく変化し、それによって
成長が違ってくる事がわかりました。

特に幼児期の遊びの質も大事で、何気なく遊んでいるのでし
ょう。遊びにやる事の大切さ、その場の充実した遊びを考えた
環境を設定する事が保育者の役割なんだと思いました。

そしてその充実した遊びは、その時だけ遊ぶという事ではなく
継続して行いたいし子どもが思い、その中でよくいろいろな
失敗した時に自分で考えたり、それを乗り越えたい、尋ねたり
する事が大事の事を学ぶ事ができて良かったです。

講義をどのように知りましたか？

アンケートのお願い

成 27年 3月 7日(土)

『保育の質と子どもの発達』

東京大学大学院教育学部教授

秋田 喜代美先生

いかがでしたか？感想をお聞かせください。

・ 今回の研修では、幼児期に身辺周りの大人の影響力の大きさや重要性と改めて学ぶことができた。特に生れながら6年間の「重層性」の海に何を求め、保育者としての責任感を強く感じた。質の高い保育を目指し、実践しなければ、幼児期を有効に過ごす保障を確保してあげるべきであると思う一方で、その反対に、「方向性や正しい保育を展開しなければ、学童期・成人期にわたる影響が」どのようなものかと...不安も募りました。年齢によらずに、初歩的保育でも、語・遊び・環境・情緒・又肉体性をそれぞれの観点から考え、子どもにとっての今後の利益にのぼるもの質の高い保育を確保していきたいと考えます。

専業をどうして「知りましたか？

アンケートのお願い

或 27年 3月 17日(土)

『保育の質と子どもの発達』

東京大学大学院教育学部教授

秋田 喜代美 姓

いかがでしたか?感想をお聞かせください。

1の学習の集中の差が、幼少期の遊びや様々な経験で出ている
ことを初めて知りました。何でもかんでも手助けしたりするのでほ
く、子ども自身が「少しでも自分で」困難を克服する時間、考える
間を作ってあげるということが大切であると感じました。
実した遊びの中で「自分で作り、仲間づくり、世界づくりが」
築かれていることがわかりました。その構築を支える為には
動環境が大事であることもわかりました。
今回学んだことを生かして、今後の保育で「環境のレイア
ーや活動の内容を子どもたちの為に考えて、子どもの音
をしっかりと聴くようにやっていきたいと思っております。
貴重なお話をありがとうございました。

講義をどこで知りましたか?

保育園内